

次の文章を読んで、問に答えましょう

災害から人々を守るため、国や市町村はさまざまな取り組みをおこなっています。大きな地震が起きた時、気象庁(きしょうちょう)は(1)を出します。少しでも早く地震発生を知らせることで、人々の命を守るためです。市町村は国からもらったデータをもとに災害がおきそうな場所を知らせる(2)をつくっています。(2)をつくることで住民に災害がおきそうな場所や(3)場所を伝えるためです。災害に関する情報を受け取ったり、まわりの変化に気づいたらできるだけ素早く行動することが大切です。たとえば、(4)が聞こえたり、地面がひびわっていたり、山の斜面から(5)が出ているときは(6)が起きるかもしれません。大きな地震が起きると、海辺の地域や川の周辺は(7)におそわれるかもしれません。(8)がふん火したら、ふん石や火山灰が飛んできたり、火さい流がくるかもしれません。国や市町村からの情報や、身の回りの変化をしっかりと見て行動し、自分の身を守らなければなりません。

問1 上の文章の()に適することばをいれましょう。

1	きん急地震速ほう	2	ハザードマップ	3	ひなん
4	山なり	5	水	6	がけくずれ
7	津波	8	火山		

問2 海からの高さ(海ばつ)が低い場所で指定されている高いビルを何とといいますか。

津波ひなんビル